

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C	令和5年4月4日	
横断的な課題	諏訪湖を活かしたまちづくり(諏訪湖創生ビジョンの推進)						
地域重点政策	諏訪湖を活かしたまちづくり(諏訪湖創生ビジョンの推進)					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名	令和4年度諏訪湖カワアイサ対策生態調査事業				電話	0266-57-2919(内線2399)	
					E-mail	suwachi-rimmmu@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	○ 豊かな漁場環境が再生され、ワカサギなどの漁業資源が持続的に利用されている。 ○ 生物多様性に適した湖岸の環境が維持・整備され、多様な鳥類が生息している。					
	現状と課題	諏訪湖に飛来するカワアイサに対しては、水産資源を確保するため、追払い等の対策が実施される一方、希少な渡り鳥であり、保護を徹底すべきとの声が上がっている。 諏訪湖におけるカワアイサについては、学術的な調査が行われておらず、正確な生態(行動、食性及び捕食量など)が不明確なまま、有効な対策を模索する状況が続いている。 ワカサギに係る連絡会議において夜間に船を出した際に捕食音を聞いたとの情報もあるため、より正確な状況を把握し、有識者とも連携しながら対策を構築することが必要である。					
	内容 (変更後の内容)	○令和4年度行動調査(夜間・早朝)採餌・休息等 学術的調査結果が得られていないカワアイサの夜間から早朝の行動把握について有識者とも連携しながら調査を行い、対策構築を進める。 1) 赤外線サーマル暗視スコープを利用し、湖岸及び湖面の両方向からカワアイサの行動記録を録画して個体の動き(採餌、休息)を分析する。 2) 調査結果をとりまとめ、夜間の採餌や休息行動から追い払い等の対策構築を進める。					
	事業期間	令和4年11月 ~ 令和5年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容		実績額	備考	
	調査委託料		日周行動調査(夜間・早朝)・採餌・休息等		836,000		
合 計				836,000			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	効率的対策手法等検討会議の開催			3回	3回	○ 達成	
	追い払い方法の検討			1件	0件	● 一部達成	
						○ 未達成	
事業実績・成果	<p>【事業実績】 委託事業により以下を実施した。 ・関係者(漁協及び信州大学)との打合せ及び情報収集を2回実施。 ・委託業者との調査手法等についての打合せを実施。 ・夜間における行動調査(現地調査)を2回実施。</p> <p>【成果】 ・飛来数が増加した年明けから調査を行い、日没後及び日の出前の調査結果から21時過ぎまでの採餌行動と6時前からの採餌行動を新たに確認することができた。 ・21時から2時の間は群れが分散し目視外となったため、詳細な行動は確認できなかったが、前後の行動観測からこの時間帯に支流河川へ移動し、睡眠をとっている可能性が判明した。 ・現在、追い払い対策を6時から18時まで実施しているが、カワアイサは追い払いが終了した後も3時間ほど採餌行動を続けていることが判明した。</p> <p>【その他】 ・当初実施を予定していた操船による湖面からの行動調査が結氷により実施できなくなり、湖岸からの調査実施となった。これにより追い払い方法の検討に必要な詳細なデータが得られなかったため、追い払い方法の検討に至らなかった。</p>						
今後の方向性	今回調査に至らなかった21時から2時の間の行動を把握するとともに、支流河川まで調査対象を拡げてより正確な状況を把握し、有識者とも連携しながら被害対策に繋げる。						